




渡 邊 昶 議員

市は、独自の事業仕分けを 行うのか

問

22年度予算の編成方針について聞く。

- (1) 税収について、現状でどのような状況にあるか。
- (2) 市長は1期4年間、市民の負託を受けて市政を担当している。3年目の予算をこれからつくるわけだが、どのような考えか。
- (3) 国の事業仕分けで「鍋田ふ頭第3バース【】の完成が未定」と、新聞に掲載された。


重点施策として最大の努力を頼みたいがどうか。




市臨海部の鍋田ふ頭に国が直轄事業で整備中のコンテナターミナル。水深12mの岸壁を250m建設、クレーンや進入道路等を整備する。総事業費約26億円。

- (4) 平島地区の区画整理が終わり、いっそうの道路網整備が必要ではないか。

名古屋十四山線の整備

【】を重点的に考えてほしいがどうか。


 平島の区画整理地内から十四山地区へ抜ける県事業の約210m区間が、未開通となっている。


- (5) 国の方法ではなく、市型の事業仕分けはあるか。

行政評価システムを準備中

答 市長

- (1) 個人市民税約21億円(前年予算対比86%)、法人市民税約3億円(同105%)、固定資産税約41億円(同103%)等を見込んでいる。
- 22年度税収として、合計約69億7,400万円(同97%)を想定している。
- (2) 自主財源を確保し、広く市民の負託に応えていきたい。

新しい弥生保育所の建設【関連記事3・4面】は、合併推進債(市の借金で、元利償還金の一部は国の交付税措置がある)を使用していきたい。

- 23・24年度に計画する(仮称)第2桜小學校【】は、財源をしっかりと確保していきたい。



桜小學校のマンモス化対策として、旧弥富中学校跡地(平島町地内)に計画中。25年度当初に開校予定。

- (3) 国は予算を集約し、整備する港湾を絞り込んでいる。今後(国への)要望を、関係者一緒になって進めていきたい。
- (4) (用地)未買収の所がある。名古屋十四山線も早く抜けるよう、関係者に依頼していきたい。

答 総務部長

- (5) 市は、仕分けの前段階に当たる行政評価システム

▲ 21年11月に着工した鍋田ふ頭第3バース(富浜地内)



を、20年度から導入準備をしている。

仕分けは、効率優先の問題や議会軽視との意見など、さまざまな課題がある。導入は国や県の動向も注視しつつ、慎重に今後検討していきたい。